

教育項目	教育内容	単位
1. 概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在留・訪日外国人医療の現状と課題</li> <li>・日本国際看護師の倫理と役割</li> <li>・日本国際看護師に必要な知識と能力</li> </ul>	4単位以上
2. 医療社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の医療社会保障制度</li> <li>・主な外国の医療社会保障制度</li> <li>・外国人に適用される医療社会保障制度</li> <li>・保険診療と自由診療（公的保険、民間保険、旅行保険）</li> <li>・保健事業（母子保健、精神保健、学校保健、産業保健等）</li> <li>・在留資格と滞在ビザ</li> <li>・外国人患者に関する医療機関認証 （JMIP、各都道府県における外国人患者を受入れる拠点的な医療機関、JIH、JCI等）</li> </ul>	4単位以上
3. 多文化理解とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的・社会的背景の多様性</li> <li>・宗教、文化、生活習慣等の理解</li> <li>・病気や健康に対する考え方の違い</li> <li>・異文化コミュニケーション</li> <li>・言語・非言語コミュニケーション能力</li> <li>・医療通訳の特性</li> </ul>	5単位以上
4. コーディネーターとしての役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人患者や家族のニーズの把握</li> <li>・医療機関の多職種との連携及び調整</li> <li>・医療通訳士の役割とスキルの理解</li> <li>・外国人患者における医療安全</li> </ul>	3単位以上
5. 救急対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病歴聴取と身体の診察における文化・プライバシーに対する配慮</li> <li>・患者の意思を確認するための工夫（文化・宗教、治療法・治療費）</li> <li>・多職種とのマネジメント（連携）</li> <li>・時間外診療の対応（一般診療との違い）</li> </ul>	4単位以上
6. 感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の基礎知識</li> <li>・世界の地域別感染症と対策</li> <li>・感染症の理解と人権への配慮</li> <li>・ワクチンの種類と接種スケジュールの多様性</li> </ul>	3単位以上
7. コミュニケーションツールとしての言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語でのコミュニケーションツール （対面、遠隔、スマートフォンアプリケーション、webサイト、電子辞書の翻訳機能）</li> <li>・やさしい日本語（医療）</li> <li>・医療英語</li> </ul>	4単位以上
8. 日本国際看護師の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場のロールプレイング（外国人患者対応）</li> </ul>	5単位以上
合計		32単位以上
※ その他・Extra	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他 指定の教育内容を網羅した上で、所定の時間数を満たすことができない場合、養成研修機関は日本国際看護師として必要な教育内容を追加し、単位を補完することができる。その場合、事前に部会に申請（※）し、承認を得なければならない。</li> <li>（※）様式3-2：認証申請に対する研修の内容</li> </ul>	3単位
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Extra 指定の教育内容を網羅し32単位以上も満たした上で、更に教育内容を増やしたい場合、養成研修機関は日本国際看護師として必要な教育を別途実施してもよい。</li> </ul>	